

～授業の概要～

通級指導教室でICT機器を使って学習している児童が在籍する学級で、取り組んだ理解学習です。

授業の前半は、身の回りには学習や生活に便利なものがたくさんあることを押さえた上で、子どもが実際に見たことがある町の中の施設を例にあげ、「誰にとってどういうところが便利か」を考えました。

後半は、「背の高さの違う3人の子どもが動物園のパンダを同じように見るためにはどうしたらよいか」、具体物の操作を通して、合理的配慮の基本的な考え方を学びました。

作成協力：京都府スーパーサポートセンター

◆単元名

「みんながくらす社会のくふう」

◆指導者

京都府スーパーサポートセンターコーディネーター（T1）

学級担任（T2）

◆ねらい

○勉強や生活に便利な工夫（バリアフリー・ユニバーサルデザイン）について考える。

○人によって便利な道具や工夫は違うことを知る。

◆対象

小学校中学年及び高学年 ※別々に実施

◆授業の展開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点	準備物
導入 (10分)	<p>1 あいさつ・流れの確認</p> <p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「勉強や生活に便利ないろいろなくふうについて考えよう」</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の自己紹介を含めて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料
展開 (30分)	<p>3 クイズをする。「この道具は、どんなときに使いますかクイズ」(全体)</p> <p>① めがね</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目の悪い人が遠くを見るときに使う。 ・目の悪い人が、新聞を読むときに使う。 等 <p>② 踏み台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・背の届かないところにある物を取るときに使う等 <p>③ ヘルパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泳ぐのが苦手な人が、泳ぐ練習をするときに使う等 <p>④ 翻訳機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の人と会話をする時に使う 等 <p>⑤ タブレット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに習った学習であることを確認。「みんな違ってみんないい」というフレーズに注目させる。 ・自分にも、得意なことや苦手なこと、好きなことがあることに気付かせる。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大できる、読み上げができる 等 <p>4 生活の中にある「工夫」について考える。(班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て、「どう便利なのかについて班で話し合う。 ① トイレの表示 ② 手洗い場 ③ ユニバーサルトイレ ・全体で意見を交流する。 		
	<p>5 人によって必要な「工夫」は違うことに気付く。(全体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックに触れながら、人はみんな違うこと、人それぞれに応じた工夫をしていることが大切であることに気付く。 ・動物園の図を見せ、どうすれば背の高さの異なる3人がパンダを見ることができているのかについて考える。 ・身長に合わせて台を置く。おんぶをする。等 	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチェリーには、いろいろな方法で弓矢を放つことができるということに気付かせ、自分にできる方法を使えばよいことが分かるようにする。 ・背の高さに応じて、必要な踏み台が異なることに気付かせる。人によって、必要な工夫は異なることが分かるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料 ・黒板掲示用の図
<p>まとめ (5分)</p>	<p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で学んだことを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表内容の板書を使い、授業を振り返ることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料 ・振り返りシート

～理解学習 その後～

別の日に、学級で校長先生からICT機器が必要な児童に、ICT機器の贈呈式が行われました。その際に担任から理解学習を振り返って、様々な工夫の中には「その人にとって、ないと困るもの」があること、また「必要な場合は誰でも使うことができる」ことを説明し、学級全体で確認しました。